KODAK Color Control Patches ©The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

東洋文庫
ヌ 2
5088
4

門 ル 2
號 3088
巻 4

早稲田大學圖書
昭25.6.28
購 亦

海外異聞巻之四

服飾

男子の衣服は長く垂る西洋人はまきてかるるなり
カミシヤといふ繻子の如きもの白さ西洋布或い麻布
掛たるを膚に着るこれをチヤンコといふ袖うしの中
長く撰り積を御り置て毛を除りて服連の拵る
ものは麤しさ撰拵あるものあらひい紋織るものとて
しらくものを長きものとそるを長
きものを長袖とて製をり服引ずるを麻布絹等

みく指〳〵カリソンセエヤといふを羅紗にて拵くるハンタロンとうとくとも更衣袴と下もぐるん
留みく絶ぬむもふうう既に羅紗にて拵てある
帽子とかぶるカチチヤといふを額のあるだらう日覆
有シヨロフレロといふを周圍より日覆あり手あり
開のかるもあり大抵を剣と佩るとあり武
官の人は佩るあり洞或いは皮の鞘より身をよく
磨く光あるをどこも指別切るものをくんなり武家
事をを意しまるれあれ
女の上着い浦布或ひい花布の襟きと自由ないわひ

ふあり胸のあらりを隠く仕立うしてあつて合ものは
なり腰もとハ出家は獨衣のまく袈裟ひつり
まるれり下ハ来袴みく袴と又袴つまし首と
こもむ宛あり獨ちとに第みく獨ちちを
なり是とカミソレとハ
あるものをナンクワをハ
女の肩まかるる風呂敷のあるものとヌレホウリとハ
幅四尺五寸八尺まりあり
巻と結り聽まて夜夜取遠く結ひり出して
肉を張る時は着より帯中へかけく張るり結

もあれたるなくに形付の西洋布にて拵えり
足元下には莫大小の袴遣ある襪をも代用せり羊
皮の履とて履を牛皮にて三寸ほどにして毛
面にして安き下には莫大小のたびとも代用の一寸ほ
どの履上には木綿にて拵へ多くあるとなり
男子は髪を長くたれ頭の髪にて切り揃へ結ひ
髭をたたへまけ耳際にて切りそろへ頂に結つけ
拵へ加ふるに口髭を作り髭にて出来一寸許
なる者もあり人くひくの拵ふかり女子耳環を
入髪ハ額の上中央に分て拵へり

上に赤と二ツ組にして赤あるもあり又碼田鞍のごと
なるを使一ツ巻く付留めり耳の邊
の髪をあり〳〵あるもあり耳を飾とて耳環をさげる
なり掃ハあるヘイ子といふ男女とも指かけて
このようなり
蒲團を西洋布にて廣く縫ひ金モヤにて赤綿にて乳を
つけ是二ツ拵て初羊毛の和らかなるを綿とし二ツ
拵て中に押込て乳と拵り又初めは乳とて
沙貫を入て後に乳の形を縫ひ乳の形を深く
うら綿の形ハ如くなれあり高きものと

風俗

人柔和にして慈愛深く国家を憂ひ恩
義を尊ひ親戚睦しく礼義正しく執行宜敷
守り妻子同倫喧嘩家業を勉め逸楽酔らん
事を慎む風俗となる
男子は朝早く起て下人を起し水を汲ひ
漱を洗ひ煙草盆を出し家の内をあちこちと掃
除して飯食の出来るを待つ婦人はおそく起て
る水を汲ひ男子の飯食を
凡人家に出る時元ボイノジイヤス。コモレハスランカ〳〵接

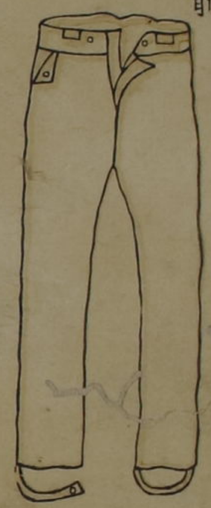
男子服飾の圖

・カミシヤ前
男の襦袢なり白き西洋布にて
うらに鈕なりなす度々着る
なり

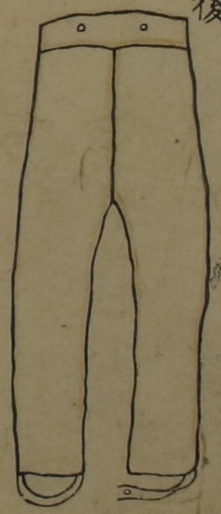
同脊

バンタロン
褲すり白さ毛織のもれ又い
羅紗をとみて作る

前

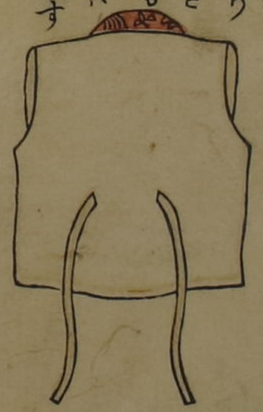


後



チヤレヨ 前

同脊



袖すりの衷衣すり
羽毛緞のおとさ
りのふ麗しきも
すりある物まとい
花緞等をて製す

脊い白さ木綿をてつくもり

チヤケタ 前

表衣すり多くい
大泥をて製す

同脊

銃卒等下賤の服
同褲
前
前
背
後

帽
種々の形あり
ショコラレロ
カチャ
此形の物ハ銃卒ゑと多くかぶる
サパト
襯靴莫大小ゑと作る
靴
ッ、ゟノクツ
同底
いろとも表ハ羊皮ゑと製し底ハ牛皮の三枚ゟ合はせ
履
同底

婦人服飾の圖

カミソン

女の襯衣なり白きもめんにて
ほそく前後ともぬひつめして
首をさしこむ穴あり腰より
上ハ襞そおしより上ハ三重
なり

ナングウ

女のあしをおほくるものなり
出家の腰衣のごとく襞積
あり

ヌレボーソ

女の頭ふくぶるものなり幅四尺長さ八尺ばかり

緞帛あるひハ形付の西洋布なり

女の表衣　結島あるひハ麗ー紀花布とものちあ

前ハ縫つめホー脊ゑて合セうけとひるゝ

胸のあき至て廣く肩の半あらゝゑゝ

女の耳ふくるかざり

女の頸ふかくるうばり珊瑚樹の玉ゆそつくる

大サ圖のとゝ

ベーゝ　櫛ゑり

脊

結ゆて色々の花の形を拵へなる紐ゑて肩のところ

肘の所と括ると圖のゝ

着る時ハ頭よりうぶる如くゆて首とゝ出するゝ

女の履

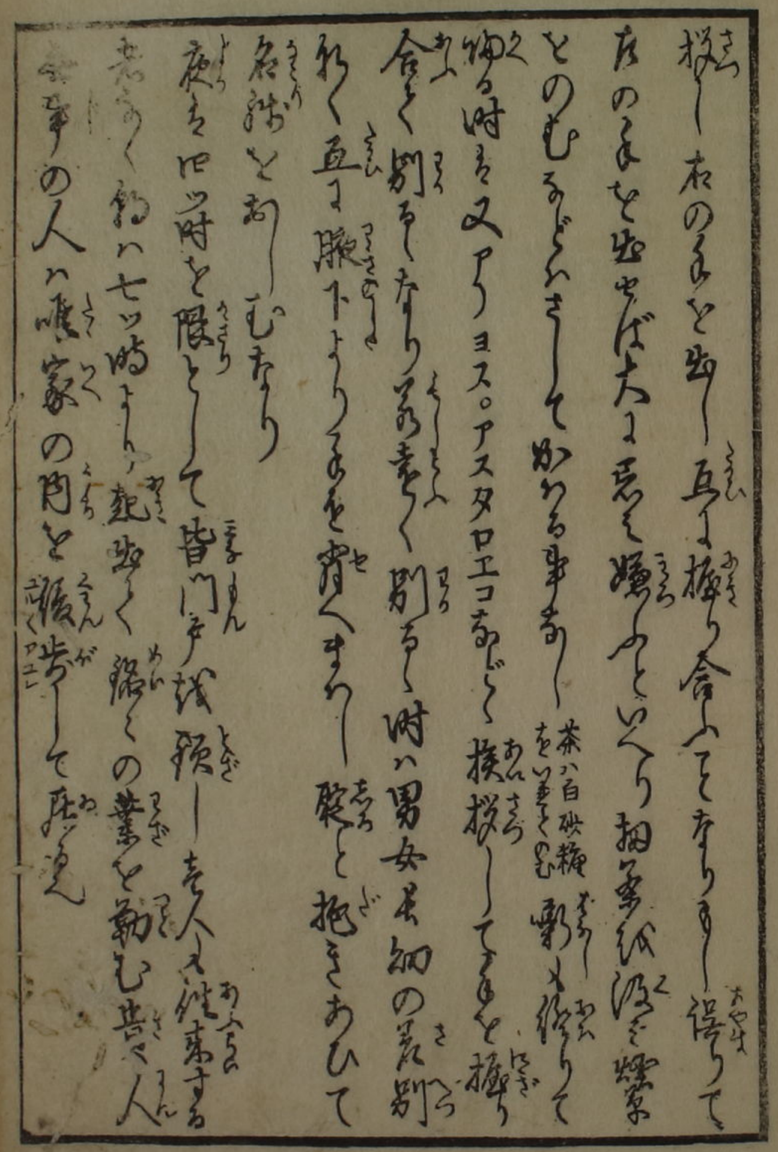
上ハ木綿ゑそあゝらゝ

皮の一枚底ゝ

女の下襪　メリヤスゑそつゝる

ソウホレヌ

一種圖の如く四角なるもあり



扨て右のまを出て互に揖を合ひてたちまち帰らんといふ相手紙屋の繁
とのむすめどんさしてかゝる事あり（茶は白砂糖を加へ煎じて）動く作りて
物る時又アラヨス。アスタロエコあるゝ接拶してもと揖
合く別れたり高き者く別れ時は男女共幼の義別
れく互に腰下ようまを背くまつて殿と抱きあひて
名残とおもむきり
夜を四時を限として皆門戸閉預て主人と従者
おのく約束七ツ時より起出て働く職の業と勤む貴く人
の人は農家の門と張歩して歩行

男女とも四五日目ときは必ず谷川に行くなり[illegible]
て肌と人とをあらはさぬ[illegible]
[illegible]たる後は[illegible]
入て肌を洗ふ事なり[illegible]
うげ森うぐるまの人のあざる所[illegible]
[illegible]りて乾きたる後は[illegible]
サンホセホてはは[illegible]
ぐ〜ぐ〜肌をあらはるるなり[illegible]
[illegible]
[illegible]
あぐ〜なり

鐵炮備打の時
一組の大將並
喇叭手出立の
圖

銃卒　ソルダト

厚き皮をもつてこしらへたる大なる銅卵ふ皮の紐あると左の肩より右乃腋へ架裟りけふかもの其中ニハ紙にてこしらへたる早合と多く入るもあるも

士人中以上の者ハ二日毎ニ夜腸と云る西洋腸の附たる鉄砲を加へげく山中へ猟ニ出て獲物又ハ演習ニ出て獲物を焼てくらふ人ニ会て酒をのむことあるとき日本ノ如く強押へすることなく各おの思ふ所ニ任て飲食して酔ふ者ハ甚ハ少く酔ふ

文字を撰文字ハ西洋と同じく形アベセヲ二十八字あり其文字をくさりの様ニ連ねて書く墨ハ油煙墨を汁の筆ハ多ハ羽の芯ニて作りて書く墨ハ油煙墨を汁の拓ふるものハ以前阿蘭陀の千二百年ノ間ハ紙ハ阿蘭陀紙と制衣法律ニ合致ス宗教ニ入る

同拓ふ文字を紙ニ写すとき所ハ封じ目ニ見る赤き腸

の抜なるものとかし滑して一けそこ[illegible]
武蔵さ長さ後砲の先[illegible]の鉄の丹あるとの[illegible]
あて[illegible]筒のあひ間ひび鉄ハあれた寒[illegible]
指別切[illegible]のの[illegible]丈五鉄[illegible]
れ[illegible]なし後砲の鉄ハ[illegible]
なく引金先[illegible]遠石と[illegible]
畠と作るなかしも不浄をかくるとなく[illegible]
水とうる迫り丈五畝と高くあげ[illegible]
水球流を作りたん作物ハ甘藷小麦玉黍[illegible]
芋西瓜南瓜の類又[illegible]大蒜葱生姜[illegible]葉の[illegible]

海四ノ五

ありて不浄ハ常に根を出して人とやしひ面葉さかる
事なり
中ゆくとの者ハ近き頃ハ必ずるこ要大家ハ常に
数十匹の馬と飼ひ置く貧窮の者ハ一疋二疋ハ
[illegible]と持さぬ者なし[illegible]
農ハ根或ハ[illegible]白木[illegible]根の作り[illegible]
[illegible]中へ[illegible]と[illegible]
[illegible]車の如き物ありて一[illegible]
[illegible]と踏[illegible]車[illegible]馬の[illegible]
[illegible]歌[illegible]

銃陣調練之圖

喇叭と吹て人とのけ引―隊長鞭と用く下知と為すあるひハ進ミ行るひハ退さ或ハ圓くあるひハおがく或ハ和ぢり或ハ右或ハ走りあるひハ徐に歩ミいろ〳〵の備へとるす銃炮ろふも或ハ立て放―或ハ中腰ふて發―或ハうさ和ぢつゝを業―或ハたゝらをくふるして發―さるゐくの品をくて演習を

すると改装とるゝと至てゝゝ手拍子よくそろひて數十挺の鳥銃少しも遲速なく一度ふ發―只一聲の如くりさあ行列正く脚歩と整へくけ引ゝゝ後と先ゝものみ―隊伍の体甚さ美觀なり

[illegible]と[illegible]く中に[illegible]と[illegible]を[illegible]
獸[illegible]く畜ひく[illegible]山に[illegible]
来るうはうしべ馬[illegible]かけ廻り退[illegible]
五六[illegible]の時より[illegible]馬と[illegible]
御[illegible]
馬共[illegible]を切[illegible]
もゝ[illegible]
くこと[illegible]女い[illegible]の上に[illegible]
轎を[illegible]檀[illegible]
[illegible]のとこ[illegible]は抹額とけ幃と[illegible]

腰をかくる所あり夫に[illegible]と獸て[illegible]る中[illegible]棒[illegible]
あり[illegible]肩に載せて[illegible]
婚姻の後を婚と婦と向ひ[illegible]一隅ゞの[illegible]
個[illegible]七[illegible]と[illegible]と[illegible]人
の頭へかけ男の戒指と如の戒指と一つく互[illegible]
うへ[illegible]
[illegible]て媒乃老個[illegible]人に向ひ[illegible]と戒[illegible]
[illegible]
[illegible]
初又男女い[illegible]び[illegible]男の[illegible]と如の[illegible]

今も男は右女は左はべるとそうし云蠟燭とわせ
媒の者金子銀をのせて持ち出人のおく立所へ行ぜん
云ゆうきること行り秋の八日時より明け七日をこの夜
あくと流産する産後ちまく森あて入まぐ物ようそん
立合たる人を集りて高砂をうたひ酒とのべて祝ひあの
しむ
男女とも一たび婚と結びてハ生涯変ずるなし
女を妻より男まても一生の間に妻帰に虜を猶るる成
聊なる大抵のもハ互に恨思をうし丈を妻と妻
妻を夫と妻く離ひ死後時一方一方義など

まるく寄り時に女は生涯ふ寡る人分〳〵男子を
改て妻とゆびなり男を十六歳以上女は十四歳以上と
婚姻の初〳〵二十歳ふ寡るまぐ獨身の者は婦なり
また大志〳〵あるこいゆび一生の業を勤ず角い
妻に妻と持〳〵ね者なり所〳〵四五十歳以て十六七の
書に拘たり八ハ二なり
丈婦連みく乃と歩行時いろ〳〵書の右代と丈の
夫の後〳〵ちと引つれて歩行なり
医師を家〳〵いつものく乳業あ生おうり
又年〳〵病人の脈をみる時に所まと夜時半と拍

脈の遅速を考へる術なし腕のかくまりと減少し血をたるものあるも凡醫者人の死骸を百斗解剖して人身の形を窮めたる者にあらざれば僅の医者に非ざれば人痘瘡を多くい天行を仮とらく医学ふべ痘瘡の例あり切りの円く疱のかこぶのちうと減じて半悪血をとるべきなれば唯痘瘡とそびといえりあまくを療治と始りて老ありて天行の痘瘡をまるるもあり百人は九十六七人近面に痘瘡の痕ある者は拙るうこれい初太郎が宇達ひ坊るべし脈入色痘瘡心はるるうはやうり痘の例なる地つくなるものにて尺微とさうてを血中に獨まだ数日

海四ノ八

婦人轎ゝ乗なる圖

乗るたい前のうち乃幃こうげてのる也

を痕瘡起りして疫と成り或ハ外にも二ツ三ツ発するあり是等ハ再び天行の痒に感ずんといへり唐土廣東の辺にも此術を行ひしより久しく近来引痘新法といふ本を舶来せしこともあり挙掲するの訳ありその御地と人信じ申して且ハ支那の書も十分あるにより申得りて今文化のころにわたるものなれど但天地の間に在る者ハ彼此の事なれバ年々種痘の新術をする事少く又いふうる新窮理ありてあまねの数術の志あるまじく或ものもなく是等ハ縁ひとつにして了するんのて

寿命ハ大抵六十と三寿と称し六十を超るものハ稀なり故に児童の歳長も一寿多く六七歳の者はれハ相応に智恵未だ多く諸ぜん他人の家に往来する子の応対ハ弁じて御るなり

これハカリホルニのことく是アメリカ州都にて得たる者なるか アメリカ新字小識に曰北アメリカのタバスコの地方人多く寿あることひとひ百アメリカのブラジイルの地方人の寿命も長くやくもすれバ百歳あまり一百五十歳にあまるといへり

婚姻式の圖
アメリカ語にてハカサルといふ

人死する時は魂抜ける 箱と梅一死籠と
中に仰向に寝さを重さ夜賊と名せ平生ちゐ
ゑ乃ちをうをを入れたるに重と一くゆさりうんと
重ひ山賊に担ぎ来たりも浦く穴と下りて平
に重さ剣の所る事あと蓋のうへ切りけるまちと
重ひ又箭と重く又ちを重ひかくのこと紙を
しく結ぐ埋めうと平てえのめくなり下とうとと
いへてもなく重びを加えうへるもの形し
遁若法半なじ云てもなし箭と重くこれ大指
などの踏くさ長高うくそ医者うくを死

海四ノ九

籠と重ひ富貴の人おくも推すに医者の無て
解剖させうと云信のいふる人死ればの魂い天に昇も
屍籠いまと出ぞ生ぞ
めの抜ふ一角りとて同じ一こと又ちをうをれ
解剖をもむ重び世界の差医者まあとてく
人の高と聞るいくら

海外異聞卷之四終

三河文庫

海四ノ十